

どぎゃん すっと よかと？

公開シンポジウム

# 外来生物：私たちの問題

今、九州には、私たちの生活や生物多様性に悪影響をもたらす、さまざまな外来生物が入りこんでいます。それらの生態や行動、各地の取り組みを学び、解決策をさがります。

・外来生物の生態影響と対策

五箇公一（国立環境研究所）

・デコポンを食べる外国のリスを根絶する：熊本県宇土半島の取り組み

安田雅俊（森林総合研究所九州支所）

・大分市におけるアライグマ対策の現状：市民協働によるアライグマ捕獲の取り組み

島田健一郎（大分市）

・どうする？江津湖の外来生物：熊本市の取り組み

清水 稔（熊本市立熊本博物館）

総合討論 「さまざまな外来生物問題にどう対応するか」

コメンテーター 石井信夫（森林野生動物研究会・日本哺乳類学会）ほか

2016年10月29日（土）14:00～17:00

くまもと県民交流館パレアホール

ホール前ロビーにてポスター発表（12:50～13:50）を行います。あわせてご参加ください。

主催：熊本野生生物研究会 共催：森林野生動物研究会

後援：環境省九州地方環境事務所・熊本県・熊本市・（公財）再春館「一本の木」財団

定員：200名（中学生以上、事前申し込み不要、参加費無料）

連絡先：jimukyoku@kumayaken.org（070-4396-1407：担当 安田）

九州の外来生物を止めよう！ STOP! ALIEN SPECIES in KYUSHU

